

令和4年度 第2回合同研修会会議 議事録		記録	中島晋太郎
開催日時	令和4年 7月5日 (火)	14:00~15:00	
場所	宮崎大学 教育学部 7階 705		
参加者	(出席者) 講師: 境 泉洋 教授 MSR: 坂元 中川 市 CM 協: 富岡 中島		
検討議題	<p>講師との初顔合わせおよび研修内容についての打合せ</p> <p>1. 自己紹介の実施</p> <p>2. 研修依頼確認書に沿って、境氏に中島より説明する。(別紙参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修日時について、10/21 13:30~16:30 了承を得る。 ・ テーマについて、境氏の専門は「ひきこもり」年齢は全般であり、8050問題に当てはまらないケースもある。テーマはひきこもりを前に出したほうが良い。 ・ 研修依頼確認書のテーマ、内容については、再度会議にて見直す事とする。 <p>3. 事例について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 境氏: ある程度の期間を経て、何度もアプローチしているがどうにもならない、どうしていいかわからない事例が良い数回しかアプローチしていない場合は空想上の話になる事が多い為。 ・ 境氏: ひきこもり地域支援センターは、多くの事例を持っている。 ・ 境氏: ひきこもり地域支援センターは、個人情報保護の観点から提供してもらえない場合もある。すでに他職種が介入している事例が多く、課題が解決へ向かっており、どうにもならない事例としては該当しないかもしれない。 ・ 境氏: ひきこもりは、慎重なアプローチが望まれ、周囲の同意よりも本人の同意が求められる。非常に時間がかかり、難しい場合が多い。周囲の助けを望まない場合も多い。支援される事より、参加の機会があり本人の力を求められている場面を作っていくことが望ましい。 ・ 以上を踏まえて、事例を両協議会より後日選出する事となる。 <p>4. 研修構成について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 講義 60分 ② ひきこもり地域支援センター5~10分 ③ 事例 40~50分×2+休憩 10分 (事例紹介 10分・ワーク説明+グループワーク 20分 ・ 数名発表 5分・質疑応答 5分) ④ 振り返り 5分 <p>5. 依頼文書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宮崎大学教育学部長 藤井 良宜 様 ・ 宮崎大学教育学部 教授 境 泉洋 様 		

	<p>6. 謝金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会の規定通りで良いと了承を頂く。(3時間+交通費) ・ ひきこもり地域支援センターの事例や機関説明を求める場合には、そちらへの謝金も必要となる。 <p>7. 今後の流れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各協議会で1事例ずつ持ち寄る。(8月末までを予定) ・ ひきこもり地域支援センターに対してアプローチし、事例提供を依頼する。 ・ 境氏に、事例を選択してもらう。決まった事例の提出は1週間前で良い。 <p>8. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市報に境氏の特集あり、福祉新聞にも載っていた。 ・ 今後、講師への案内は中島より実施していく。 <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>次回役員 会予定</p>	<p>〈次回の打合せ〉 未定、担当より随時連絡予定</p>